

富山県

原子力防災 通信 その 20

▶ 地震による道路の寸断を想定した複合災害対応訓練

地震により、道路が寸断し孤立集落が発生したとの想定で、県の消防防災ヘリに救助を要請し、空路で避難する訓練を実施しました。また、寸断された道路を復旧する道路啓開訓練を実施しました。



県の消防防災ヘリを活用した空路避難



段差解消等の応急復旧を行う道路啓開訓練

▶ 石川県からの避難バスの避難退域時検査の実施

石川県の羽咋市、中能登町から避難するバス2台を氷見運動公園内の検査場所に受け入れ、避難退域時検査を実施しました。



石川県の避難バスを受け入れた避難退域時検査訓練

▶ 原子力災害対策本部等の設置運営訓練

防災危機管理センターにおいて、映像情報システム等の設備を活用した図上訓練を実施しました。道路の通行止めや避難所の被災等を想定し、関係機関と協議の上、避難ルート決定などを行いました。



情報を集約し対応する図上訓練

いざという時のために…



UPZ
30km

PAZ
5km



この情報誌では、
富山県の
原子力防災に対する
取組みを
ご紹介します。

富山県危機管理局 防災課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 防災危機管理センター4階
TEL:076-444-3118 FAX:076-444-3489

令和7年度富山県原子力防災訓練を実施しました。



今年度の訓練では、氷見市UPZ内全域を対象とした屋内退避訓練を実施するとともに、明和地区、上庄地区を対象とした一時移転訓練を実施しました。多くの住民の方にご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

1 屋内退避

放射線による被ばくを低減する防護措置です。

- 氷見市UPZ内全域に、防災行政無線や広報車、防災ラジオを用いて、屋内退避の実施を呼びかけました。
- 自宅で屋内退避ができない状況を想定し、**一時集合場所（上庄小学校）**において屋内退避訓練を実施しました。
- 窓を閉める、換気を止める等、外気を遮断して屋内退避の方法を確認しました。
- 屋内退避に関する動画の視聴や避難計画に関する講習も実施しました。



一時集合場所での屋内退避訓練



一時集合場所での講習

2 一時集合場所への集合 安定ヨウ素剤の配布

近隣の小中学校や公民館等に集合し、安定ヨウ素剤を受け取ります。

- 一時移転の指示を受け、自宅で屋内退避を実施した住民の皆さんにも、近隣の一時集合場所にお集まりいただきました。
- 体内（甲状腺）への放射性ヨウ素の取り込みを減らす安定ヨウ素剤について薬剤師から説明を行い、訓練ではラムネを配りました。
- 体育館での集合配布のほか、西の杜学園では、自家用車から降りないドライブスルー方式での配布も実施しました。



上庄小学校での集合配布



西の杜学園でのドライブスルー方式による配布

3 避難退域時検査（車両検査・住民検査）

車両や身体に放射性物質がついていないかを確認します。

- 住民の皆さんには、バスや自家用車で会場に移動いただき、避難退域時検査を実施しました。
- 避難車両や身体を測定機器を用いて検査し、基準値以上の放射性物質がついている場合は、拭取りや脱衣による簡易除染を行いました。
- 今年度は、避難計画上の検査場所である仏生寺公民館が使用不可との想定で、**氷見運動公園**で実施し、車両検査では自家用車約100台、バス6台を検査しました。
- 今年度は、避難退域時検査管理システムを試験導入し、係員が検査結果をスマートフォンでシステムに入力することで、検査票や検査済証をペーパーレス化し、検査効率の向上を図りました。

車両検査



住民検査



4 広域避難

放射性物質による汚染がないことを確認後、避難所へ移動します。

- 県西部の避難所で受入れが困難な状況を想定し、今年度は、**滑川市の避難所（中滑川複合施設メリカ）**に避難いただきました。
- 県防災士会の協力のもと、段ボールベッドを組み立てる体験や防災講演会を実施しました。



段ボールベッドの組立て



防災士会による講演